



「知恵の経営」報告書作成と同実践モデル企業認証を通じて

# 自社のビジョンが より明確になりました。

## 自社を見直す絶好の機会に

京菓子の卸を中心に企画・製造から小売まで幅広く手がける富久屋の経営を、小林憲正さんが引継いで約2年。事業のヒントになればと、同業者の紹介で昨夏、「知恵の経営」実践セミナーへ参加した。「といっても最初はまったく認識不足で、ここまで大がかりな取り組みになるとは思っていなかったんです(笑)」。このセミナーが目指すのは「知恵の経営」



知恵産業推進室  
経営支援員

谷口 真

有限会社富久屋

小林 憲正

## 有限会社富久屋

京都市中京区西ノ京上合町30番地  
TEL 075-811-6691  
事業内容 / 和菓子の製造卸小売  
<http://web.kyoto-inet.or.jp/people/fukuyaky/>

## 心強い支援のもとで

「もちろんご担当の谷口さんのサポートがあつてこそ。的確な報告書作成。社内外の人を巻き込みながら、経営戦略と事業計画を再構築した。」  
「父が創業して約50年、私も入社から15年が過ぎ、当たり前と思ってきたことを見直す中に、多くの気づきがありました。自社の強みと弱点を把握する絶好の機会になりました」と成果を語る。

指摘に、さまざまな意味で助けられました。例えば、かつてコンサルタントに非効率と否定された顧客の全国への広がりは、視点を変えれば逆に強みになると助言があつた。また、別のアドバイスをきっかけに、経営の根幹である経営理念にまで立ち戻り、事業を再構築した。  
「報告書の文章を何度も添削してもらいました。いつでも丁寧なコメントをバックしていただき、誠実な対応に感服しました」と、ともに報告書作成に携わった企画室主任の勝田さんも言葉を添える。  
手厚い支援も功を奏し、昨年11月には京都府の意見聴取会議で高い評価を受け、「知恵の経営」実践モデル企業の認証を得た。

## 自信を持って 新たな時代にチャレンジ

この機会に社内でのコミュニケーションも深まったという同社。完成した報告書は、スタッフ間の意識共有や人材教育にも活用している。「私たちのやり方は間違っていないと自信を持つことができました。縮小傾向にある業界ですが、売り先を広げる切り口も見えてきた。時代に柔軟に対応しつつ、お菓子の文化を守っていききたいですね」。しっかりと足元を踏み固め、未来に向かって走り始めた。

### 担当支援員



私が担当いたしました /  
京都商工会議所  
知恵産業推進室 副主査  
経営支援員  
谷口 真

### 知恵ビジネスをお手伝いします

中小企業診断士としての知識や京都商工会議所ならではのネットワークを活用しながら、知恵ビジネス認定企業のハンズオン支援をはじめ、知恵ビジネスプランコンテストや「知恵の経営」、経営革新等の認定制度や補助金等の申請支援などを通じて事業成長のお手伝いをしています。  
知恵や強み、その活かし方や魅せ方は、案外

自社ではわからないものです。それらをご一緒に掘り起こすように努めています。  
富久屋さんの例のように、支援先企業から別の知恵ビジネスに取り組む企業を紹介いただいたり、知恵ビジネスに取り組む企業同士のコラボレーションも増えています。こうした知恵の連鎖で、京都産業がさらに飛躍の一助になればうれいすね。